

若葉の候、貴社ますますご繁栄の事とお慶び申し上げます。

さて4月12日(土)に当社にて卒業式を執り行いました。
当社初の技能実習生として3年前に来日したダイ君、フィ君、ヒエウ君のベトナム人3名が3年間という技能実習期間を満了しました。ゴム製造業としては3年間の技能実習しか認めてもらっておらず延長出来ないため、彼ら3名は一旦ベトナムに帰国しビザを更新してから、新たに日本の違う職種へ技能実習生としてまた再来日します。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka

彼ら三人の次の新しい職種は、食品加工会社となりました。ダイ君は熊本、フィ君は茨城、ヒエウ君は神奈川で働きます。三人とも離れ離れになるけど共和ゴムで培った三年間の友情は一生続きます！卒業式では製造部の川上を中心に準備をして色々な催し物をしてくれました。

思い出のビデオレター、プレゼント贈呈、参加者達からの激励挨拶、記念撮影、卒業証書贈呈など、卒業証書には皆んなからの激励の一言を添えております。

18時からスタートし1次会が終わったのが23時頃、2次会はカラオケBOXへ行き、3時頃まで大いに盛り上がってました。

当社がスポンサーをやっている日本ソサイチ連盟の福満さんのお気遣いで、ベトナム人達の名前入りのソサイチ日本代表ユニフォームをプレゼントとして頂きました。

めちゃくちゃ喜んで、1次会途中から2次会終了までずっと着てました。

彼達と一緒に共和ゴムFCを結成し7人制サッカー(ソサイチ)を3年間出来たことは僕にとっても大変良い思い出です。

2次会では歌ったり踊ったり、熱く語らいながら抱擁したりずっとベトナム人3名と一緒に盛り上がってました。

最初来日した時は挨拶程度の日本語しかできなかったのに日本語学習を毎日コツコツと行う努力の積み重ねで今では日本語もかなり上達しました。当社製造部での仕事も本当に真面目にしっかりと頑張ってくれており大変貴重な戦力でした。彼ら三人なら次の新しい日本の職場でも貴重な戦力としてしっかりと働いて貢献できること間違いなしだと思います。

彼ら三人には常日頃からずっと言い続けてたのですが、これからもしっかりと頑張って人生の成功を掴み取って欲しいです！ダイ君、フィ君、ヒエウ君の成功を祈っております。

5月19日からは新たなベトナム人技能実習生が3名初出勤します。この新しい彼ら三人もしっかりと育てます。

何卒宜しくお願い致します。



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第113号
2025年5月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

Tel. 072-855-1039(代表) / Fax. 072-855-1090(代表)

本 社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3

東京営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439

島根よしか工場

〒699-5522 島根県鹿足郡吉賀町七日市459番地1

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



NEWS

01 2025年 展示会出展予定

今年度は、下記の展示会への出展を予定しております。

EE東北	日程 6/4(水)・5(木) 会場 夢メッセみやぎ
北海道土木・建築未来技術展	日程 7/2(水)・3(木) 会場 アクセスサッポロ 大展示場
東京騒音・振動対策展	日程 7/23(水)・24(木)・25(金) 会場 東京ビッグサイト 東展示棟
けんせつフェア北陸2025 in 新潟	日程 10/1(水)・2(木) 会場 新潟市産業振興センター
鉄道技術展	日程 11/26(水)・27(木)・28(金)・29(土) 会場 幕張メッセ

共和ゴムFC 活動報告 vol.17

4/27(日) vs FCモナキング
J-GREEN堺



「共和ゴムFCには絶対に勝ちたい」と試合開始2時間前から集まり入念なアップをしていた相手チームの気迫に押され前半序盤から相手チームに押されてましたが守りは崩されることがなく、徐々にこっちもペースを握り反撃回数も多くなり決定機もかなりあったが相手GK(全国大会常連の富山第一高校出身)の連続ファインセーブで防がれ得点ならず前半は0-0で終了。

後半も前半同様2-3-1のフォーメーションのままで、選手4人を入れ替えて臨む。

辻本君(フットゴルフ日本代表)のドリブル突破からの素晴らしい得点で先制し勢いに乗り、CB桐谷君(ヴィッセル神戸ユース→FCティアモ枚方)がインターセプトからそのままドリブルで持ち上がり会心のシュート。

疲労を考慮しながら選手交代も頻繁にしながら最後までペースを握り一昨年リーグ得点王の福元君(米子北高校出身)の追加点で3-0となり試合終了。

各自それぞれのポジションでとても良い動きをしてくれました。これで2勝1分(シュートアウト負け)で勝ち点7となり、順位も3位となりました。

営業部門

Sales
Department

日頃からニュースレターをご愛読いただき、誠にありがとうございます。

2週連続で筆を走らせておりますのは、本社営業部兼製造部の沖縄担当・比嘉善徳(ひがよしなり)でございます。

ちょうど最近、伊勢神宮へ参拝に行く機会があり、はじめて小さな水晶を買いました。浄化効果があって邪気を吸って水晶が黒くなることがあるという話を聞き、面白そうなので、玄関に置いてみて、これから黒くなっていくのかどうか楽しみに観察しています。

—— ソサイチ沖縄リーグが開幕しました

さて、この場をお借りしてご報告させていただきます。元々勤めていた公務員を退職し、共和ゴム株式会社のお仕事をさせていただきかけとなった、7人制サッカー競技「ソサイチ」の沖縄リーグが4月より開幕致しました。

私は運営に関わらせていただいておりますが、大いに盛りあがっております。スポーツの力を改めて実感しております。

今大会では、当社製品でバナーを見栄え良くしてくれる「MAT看板」も使用しております。自分でいうのもなんですが、設営の立場からみても軽くて丈夫で、非常に設置・撤収もしやすい大変良い製品だと実感しております。

沖縄では(株)エムズ様が弊社のMAT看板を購入し在庫してくださっているので、レンタルが可能です！

レンタルなので、気軽に利用可能だと思いますので、興味のある方は(株)エムズ様へ是非お問い合わせください。

—— 地産地消でゴミから副産物に。そしてグリーン電気を使う未来！

話は大きく変わりましたが。

先日、4月24日(木)に三重県松阪市で執り行われました、「パワーエイド三重シン・バイオマス発電所」の竣工式に沖縄プロジェクトのメンバーと一緒に参加させていただきました。

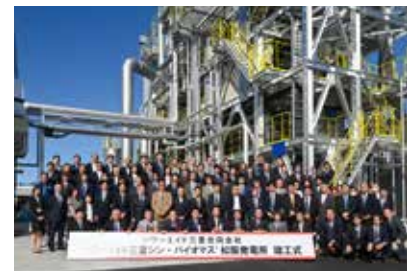
こちら「パワーエイド三重シン・バイオマス@松阪発電所」は、パワーエイド三重合同会社が、木材・製造業由来の生産副産物(シン・バイオマス®)を有効活用して脱炭素電源開発を行う事業で、元々、廃棄物として処理されていく地域資源(きのこ栽培ででるおがくずなど)を、エネルギーの燃料として活用することで、「グリーン電力」を地域内で循環させる新たな仕組み「インターナルカーボンサーキュレーション」を実践している取り組みです。

弊社がこちらの事業とどういう接点があるかということ、2つあります。私たちが今まで廃棄物として処理してきたゴムやスポンジの「生産副



本社営業部 沖縄担当
比嘉 善徳

産物」をこちらの取り組みにより活用しちゃうという試験をしている点、それから、弊社GX推進の取り組みで、沖縄でもこの仕組みを横展開して地域課題の解決と脱炭素型の持続可能な社会を実現させるべく、『地産地消ゼロカーボン沖縄プロジェクト』を進めてる点にあります！沖縄のプロジェクトのまさにモデルケースとなるバイオマス発電所の商業運転が開始されたというところで個人的にもとても嬉しく、また、FIT制度に依存しないで、地域が自給自足で燃料を確保しながら供給していくシステムは社会的にも大注目間違いなしだなあと感じました。



—— そもそも、FIT制度とは？

FIT制度とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定期間、一定の価格で買い取ることを国が約束する制度なんです。その財源は、なんと電気を利用する人全員が電気料金に上乗せして負担しています！(そういえば、電気料金の明細でみたことある！)調べると、再エネ賦課金は、FIT制度導入当初の2012年度には1kWhあたり0.22円でしたが、年々増加傾向にあり、2024年度は3.49円、2025年度は3.98円になったらしく、知らないところで税金としてジワジワ徴収されているのです。

—— 地産地消ゼロカーボン沖縄プロジェクトの進捗！

あらためて、発電事業者からすると事業継続性や安定性に不可欠だと考えられていたこのFIT制度を使わないぞ！という発想と、「パワーエイド三重シン・バイオマス@松阪発電所」を設立して、それを実現された北角社長、西川職務執行者はじめ関係者(順不同)の方々の「凄み」が拙い私の表現で少しでも伝わりましたら嬉しいです。

これらを沖縄に横展開していく取り組みに、弊社そして沖縄の仲間たちと共に、今まさに挑戦しています。

では、どうやってこの美しい仕組みを沖縄で実現するかは、また今度じっくりお伝えします！

PS 沖縄のプロジェクトの成功祈願のため沖縄の仲間と伊勢神宮へ参拝しました！人生2回目の伊勢神宮は改めて身が引き締まる思いでした。宮中に生えてる木がものすごく大きくて、ついみんなで抱きついちゃいました。



いつもありがとうございます。共和ゴム株式会社の事業内容や姿勢といったコアな情報をこのニュースレターで毎月発信しております。興味がある内容やもっと深く知りたいと思えたことについてはお気軽にご連絡ください。今後ともよろしくお願いいたします。